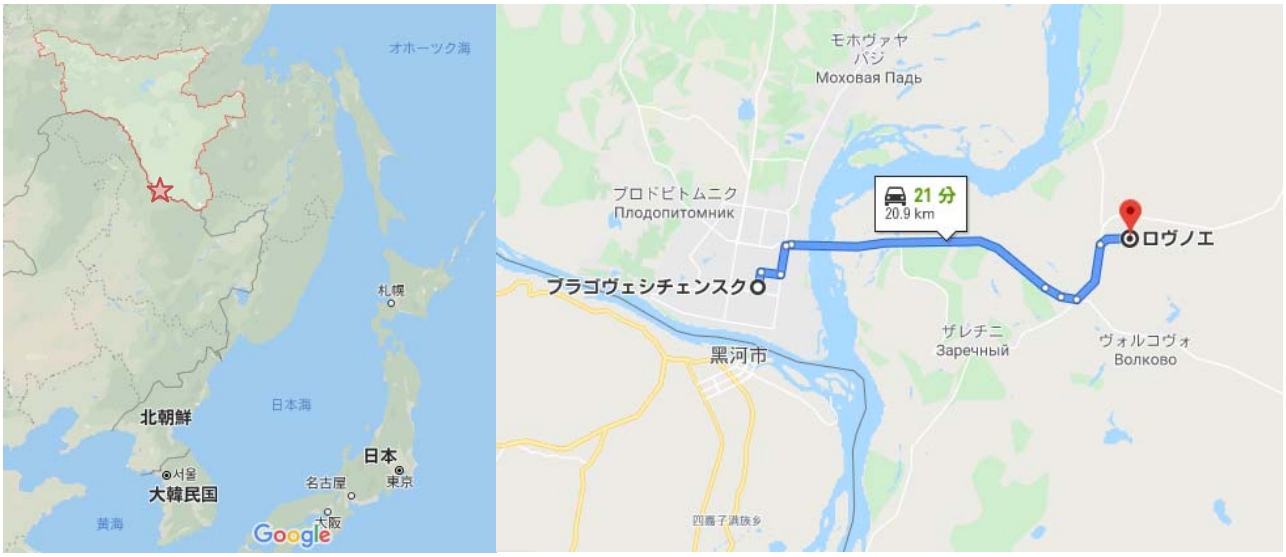
資料３－３

先行開発地域「プリアムールスカヤ」における投資プロジェクト「チューブバッグサイレージによる穀物の屋外保存」

- 実施者　Private limited company «Inprom»
- 事業用地　675504 Amurskaya oblast', Robnoe selo, Blagoveshchensky region
  （州都ブラゴヴェシチェンスクから東に20km）
- 実施形式　Private limited company による。



本事業では5haの用地でポリエチレン製チューブバッグサイレージによる穀物の保存を行う。チューブバッグ100個と専用袋詰機を購入予定。敷地内に監視カメラと従業員用の移動式キャビンを導入する。

本事業の強みは革新的な穀物保存技術の導入により、保存コストを大幅にカットし投資費用を削減できること。

事業の意義　雇用創出による人口密度の上昇、極東連邦管区における技術革新、最先端技術による低コストの穀物保存。極東連邦管区の農業法人にも展開を見込んでいる。

主な指標
- 投資総額　1,159万5,000ルーブル（税別）
- 事業用地　5ha
- 初期の生産量　2万7,000t/月
- 従業員1名あたりの生産性　879万6,000ルーブル/月
- 新規雇用者数　6名
- 従業員1名あたりの投資額　231万9,000ルーブル
- 穀物の保存　60ルーブル/t
- 荷積・荷卸　70ルーブル/t
- 着工　2019年第1四半期
- 工期　2019年第1四半期～2021年第1四半期
- 稼働開始　2021年第1四半期

主な事業内容と価格
- 穀物の保存　70ルーブル/t
- 荷積・荷卸　60ルーブル/t

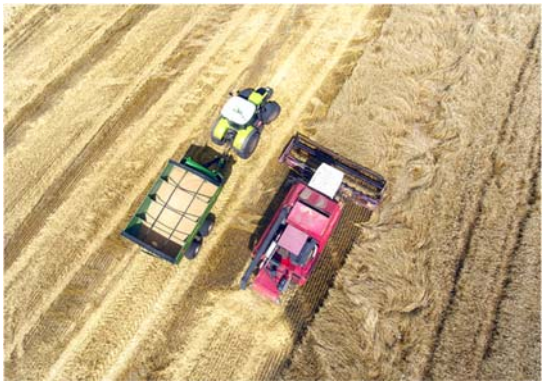
事業の実施における強み
- 経営と市場の知識。
- 事業は持ち出し資金で実施される。
- 穀物保存の新技術を調査済。
- 当該技術はロシアで日が浅く、当社が極東連邦管区で新たな潮流を牽引できる。
- 投資額が大きくないことから、穀物保存のコストを削減できる。
- 先行開発地域における特権と税制優遇措置。

ビジネスプラン
- 需　要　極東及びロシア全土の課題は穀物倉庫の不足である。次々と新しい施設が建つが、解決していない。

- 競争力　極東連邦管区内で唯一当該技術を使用する事業である。
- 特　徴　革新的な穀物保存技術の導入。
- 投資額　事業実現に必要な費用は 1,159万5,000ルーブル（税別）
- 出資元　持ち出し資金を利用。
- 出資比率　持ち出し資金 100%。1,427万4,000ルーブル。
- リスク　専門家の評価によると、本事業の投資リスクは 10.78%。成功確率 89.22%。

事業効果に関する主な指標
- 内部収益率（IRR）　18.60%
- 収益性指標（PI）　1.05
- 回収期間（割引なし）4.66 年
- 割引回収期間　10.68 年（割引率 17.00%）
- 現在価値（PV）1,466 万 290 ルーブル
- 正味現在価値（NPV）74 万 6,290 ルーブル

これらの数字からも、本事業の効果、安定的なキャッシュフロー、信頼性が高く評価されている。



日本との協力における関心事項
Improm では、味噌、醤油など大豆加工技術を持つパートナーを募集中。

Inprom が提供
1. 法的な連携（合弁企業立ち上げを含む）
2. 加工場の建設用地
3. 大豆
4. 労働力
5. ロシアから中国への販売チャネル

日本側パートナーに求めるもの
1. 機材の購入と加工場の建設（機材は中国等からの調達も可）
2. 大豆加工製品の生産技術・専門家
3. 日本ブランド

ご連絡先 Dyu Aleksandr
ＯＯＯ «Инпром» Д ю Александр adyu77@list.ru